

9. 工学研究科

(1) 工学研究科の教育目的と特徴	9-2
(2) 「教育の水準」の分析	9-3
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	9-3
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	9-7
【参考】データ分析集 指標一覧	9-9

(1) 工学研究科の教育目的と特徴

1. 本研究科の教育目的は、次のとおりとする。

新たな科学技術におけるイノベーションを創成できる研究者、社会で即戦力として活躍できる技術者として、関連する幅広い工学専門領域の高度な専門性を有し、デザイン思考能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、交渉能力、グローバル展開能力に優れたリーダーの養成を目指す。

2. 工学専攻

高度な専門性を担保しつつ、幅広い工学関連領域を自由に修得できる教育研究プログラムを生かし、特定の専門性に特化することなく、社会のニーズにフレキシブルに対応しつつ科学技術イノベーションを創成できる人材の育成を目指す。

3. 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻

機械工学領域、環境・エネルギー領域に強みを有する本研究科教員と、理論計算領域の強みと多様な工学領域に特徴のあるインド工科大学グワハティ校機械工学科教員との連携により、日本特有の品質にこだわったものづくりの考え方（匠の精神）とインド特有の創意工夫により新しいものを作る考え方（ジュガードの精神）の相互理解とそれに基づく教育・研究を行うことで、柔軟な発想と広い学識を有する人材の養成を目指す。

4. 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻

化学・材料分野の基礎研究に強みを有する本研究科教員と、豊富な天然資源対象の化学に強みを有しさらに多様な化学及び工学の展開を志向するマレーシア国民大学理工学部及び工学・環境施設部教員との連携により、両国の自然との共生と持続可能な社会構築の実現に貢献するとともに、国際的に展開できる広い視野と柔軟な対応力を持ち、マレーシアをはじめアジア地域と東海地域をつなぐグローバルリーダーとして社会を牽引する人材の育成を目指す。

(2) 「教育の水準」の分析

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

<必須記載項目1 学位授与方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された学位授与方針（別添資料 4209-i1-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目2 教育課程方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された教育課程方針（別添資料（再掲）4209-i1-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目3 教育課程の編成、授業科目の内容>

【基本的な記載事項】

- ・ 体系性が確認できる資料
（別添資料 4209-i3-1）
- ・ 自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料
（別添資料 4209-i3-2）
- ・ 研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（別添資料 4209-i3-3（第7条）～4209-i3-4（第2））

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- ジョイント・ディグリー（JD）プログラムについて、インド工科大学グワハティ校（IITG）及びマレーシア国民大学（UKM）との協定を締結し、開始年度となる2019年度には4名の留学生が入学した。[3.2]

岐阜大学工学研究科 教育活動の状況

- 2019 年 4 月に改組した工学研究科では、旧来の 4 専攻（生産開発システム専攻、物質工学専攻、電子情報システム工学専攻、環境エネルギーシステム専攻）を 1 専攻化した新しい専攻（工学専攻）と、ジョイント・ディグリー（JD）プログラムとしてインド工科大学グワハティ校（IITG）との岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻及びマレーシア国民大学（UKM）との岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻の 3 専攻を設置している。

工学専攻では、専門領域を超えた工学系の知識も修得できるように、いずれの領域の専門科目も修得できるカリキュラム体系とし、異なる領域の教員や学生同士の相互の意見交換や討論ができる環境を提供している。[3. 2]

<必須記載項目 4 授業形態、学習指導法>

【基本的な記載事項】

- ・ 1 年間の授業を行う期間が確認できる資料
(別添資料 4209-i4-1)
- ・ シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料
(別添資料 4209-i4-2～4209-i4-3)
- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
(別添資料 4209-i4-4)
- ・ インターンシップの実施状況が確認できる資料
(別添資料 4209-i4-5)
- ・ 指標番号 5、9～10（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 専門性を担保しながら英語による実践的な教育を行うことにより、国際通用性と実力を兼ね備えた人材育成の観点から、英語での講義・指導による「アドバンスト・グローバル・プログラム（AGP）」を実施し、2019 年度は 10 名が入学した。
[4. 4]
- 社会人博士向けに、会社の技術的課題を研究テーマとする研究指導を導入し、実際に 9 名が研究指導を受けている。[4. 5]
- 他領域の副指導教員からの研究指導及び若手教員との議論等、多様な観点からの研究指導を目指した複数指導教員制とカリキュラムにデザイン思考とグロー

バル化教育を目的として科学技術実践科目を 10 科目導入している。[4.6]

<必須記載項目 5 履修指導、支援>

【基本的な記載事項】

- ・ 履修指導の実施状況が確認できる資料（別添資料 4209-i5-1）
- ・ 学習相談の実施状況が確認できる資料（別添資料 4209-i5-2）
- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（別添資料 4209-i5-3）
- ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（別添資料 4209-i5-4）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 主指導教員と学生とで十分な打ち合わせを行い、教育研究指導計画書を作成するように、2019 年度に研究指導計画に係る申合せを制定した（別添資料 4209-i5-5）。[5.0]

<必須記載項目 6 成績評価>

【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準（別添資料 4209-i6-1）
- ・ 成績評価の分布表（別添資料 4209-i6-2 【非公表】）
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料（別添資料（再掲）4209-i6-1（第 7 ～ 9））

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 2018 年度に教育改善室を設置し、シラバスの記載項目の点検を各科目で実施した結果、2019 年度の Web シラバスの公開率は 100%となった。[6.0]

<必須記載項目 7 卒業（修了）判定>

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定（別添資料 4209-i7-1（第 22 条））
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含

岐阜大学工学研究科 教育活動の状況

めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料

（別添資料 4209-i7-2（第 46 条）～4209-i7-3（第 19 条））

- ・ 学位論文の審査に係る手続き及び評価の基準（別添資料 4209-i7-4～4209-i7-5）
- ・ 修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料（別添資料（再掲）4209-i7-2（第 46 条）～（再掲）4209-i7-3（第 19 条））
- ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料（別添資料（再掲）4209-i7-4）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目 8 学生の受入>

【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料（別添資料 4209-i8-1）
- ・ 入学者選抜確定志願状況における志願倍率（文部科学省公表）
- ・ 入学定員充足率（別添資料 4209-i8-2）
- ・ 指標番号 1～3、6～7（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<選択記載項目 A 教育の国際性>

【基本的な記載事項】

- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数
（別添資料（再掲）4209-i4-4）
- ・ 指標番号 3、5（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- グローバルリーダーとして活躍できる人材を育成するため、英語による専門教育プログラム（AGP）を設置し、2019 年度より英語のみで授業を行っている（2019 年度 74 科目）。[A. 1]

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

＜必須記載項目1 卒業（修了）率、資格取得等＞

【基本的な記載事項】

- ・ 標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 4209-ii1-1）
- ・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料（再掲） 4209-ii1-1）
- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）
- ・ 指標番号 14～20（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

＜必須記載項目2 就職、進学＞

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 21～24（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

＜選択記載項目A 卒業（修了）時の学生からの意見聴取＞

【基本的な記載事項】

- ・ 学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料
（別添資料 4209-iiA-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

＜選択記載項目B 卒業（修了）生からの意見聴取＞

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料 4209-iiB-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 2017年度に実施した組織改編に関するアンケートの意見を反映し、グローバル化に対応するため、以下の2件を実施した（アンケートの対象は企業、大学院修了生、大学院在学生）。[B.1]
- ・ 英語による教育プログラム（AGP）を設置し、2019年度に10名が入学した。
- ・ 海外の大学と連携して学位を相互認定するジョイント・ディグリー（JD）制度を導入し、2019年度に4名が入学した。

<選択記載項目C 就職先等からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・ 就職先や進学先等の関係者への意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料（再掲）4209-iiB-1（P. 6～18））

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍 状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する 科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数 (常勤・常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業 データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
4. 卒業後の進路 データ	23	職業別就職率	職業区分別就職者数／就職者数合計
	24	産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 一部の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。